

要請番号 (JL42426A04)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ヨルダン	G182 小学校教育		個別	交替 2代目	2年	・2026/3・2027/1・ 2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

外務省

2) 配属機関名 (日本語)

パレスチナ難民局

3) 任地 (バカア) JICA事務所の所在地 (アンマン)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 0.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

パレスチナ難民局(DPA)は、ヨルダンに長年居住するパレスチナ難民への支援を監督・調整する行政機関である。国際機関である国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)は、実施機関として教育、福祉、保健衛生など、難民の生活向上を目的とした直接的な支援を行っている。JICAはこのDPAを通じてUNRWAに隊員を派遣しており、難民居住地域(アンマン周辺)やアンマン市内のUNRWA運営の学校で、教師として活動している。2026年1月時点で、計5名の隊員を派遣中。なお、ヨルダンの小学校では、男女別学が採用されており、男子校には男子教員、女子校には女子教員のみが配置されるという慣行がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

パレスチナ難民のための小中学校では、進学試験の対象となっている主要科目の指導に重点が置かれており、音楽・体育・美術等の副教科は時間割に組み込まれているものの、実際には子どもたちにボール遊びをさせるだけなど、授業が適切に行われていない学校もある。また、教員自身が過去に情操教育を学んだ経験がないため、これらの科目への意欲や技能不足が要因となり、授業が行われていないケースも見られる。隊員はまず、生徒に対して授業実践を優先する。モデル授業や現地教員との協働授業を通じて、副教科の意義や重要性の理解を促し、その後のステップとして、授業内容改善のための助言やワークショップ等の開催が期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先の校長および同僚と協力し、以下の活動を行う。

- 生徒に対し、体育を中心に、音楽や図画工作(美術)などの副教科授業を実施する。
- 現地教員への授業サポートや協働授業を通じて、副教科に対する理解を促進する。
- 校内運動会や音楽会などのイベントを企画・運営し、児童生徒に情操教育の機会を提供する。
- 教育分野の協力隊員や現地教師と連携し、授業改善を目的としたワークショップやイベントを開催する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

運動場、ボール等の各種運動用具

4) 配属先同僚及び活動対象者

- UNRWA教科総括主任(大卒・50代)
- 校長(大卒40~50代)
- 教師(25~40代)

・生徒(1～5年生、児童生徒数40～50人/各クラス)

5) 活動使用言語

アラビア語

6) 生活使用言語

アラビア語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]：(小学校教諭があると望ましい)
(中学校又は高等学校教諭(保健体育)があると望ましい)

[学歴]：(大卒) 備考：同僚が大卒のため

[経験]：(指導経験)3年以上 備考：経験ある教師と活動するため

[性別]：() 備考：

[参考情報]：

・小学校児童生徒への指導経験は必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：(地中海性気候) 気温：(0～40℃位)

[電気]：(安定)

[通信]：(インターネット可 電話可)

[水源]：(安定)

【特記事項】

隊員の活動校は、隊員の性別に基づいて決定される。住居はアンマン市内を予定しており、活動校はヨルダンの首都アンマンから北へおよそ20キロ、パレスチナ難民が暮らすバカアキャンプ(1968年設立)の敷地内となる。バスやタクシー、または同僚の車での通勤となる。

【類似職種】

・体育
・青少年活動

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。